

今年5月1日、皇位継承に伴い、令和へと改元されました。現代の改元は、明治の「一世一元の制」、それを継承した元号法によって皇位継承がなされた場合にのみ行われます。しかし、明治以前では天皇一代の間に何度も改元が行われることもあり、それ以外の理由があったことが分かります。

古代の改元を見ると、9世紀代までの改元には、ほぼ全てに祥瑞と呼ばれるものが関係しています。祥瑞とは「天が為政者の治世を称賛して出現させた特異な動物や自然現象」のことです。白雉、慶雲、靈龜などが該当します。ちなみに、備後国から献上された白鹿が「元慶」改元の契機となつています。祥瑞の出現は、安定した時代であることを示すもので、祥瑞での改元には、安定・繁栄した時代の永続を願う意味があつたと考えられます。

しかし、10世紀になると自然災害や疫病などの災異

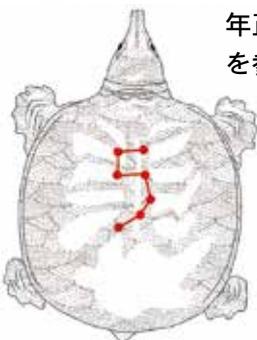
改元の契機とその意味

で改元が行われるようになります。災異は為政者の不徳により生じた災厄とされ、不安定な時代を象徴するものです。災異での改元は、そうした時代の終息と、安寧の時代を願うものであつたのでしよう。

さまざまな契機によって改元は行われましたが、改元とは、単なる時代名称の変更ではなく、「時を替えること」であり、それによって安定・繁栄の時代の到来を期待するものであつたと考えられます。

祥瑞「靈龜」(イメージ)

※正倉院宝物「青斑石龜合子」(『平成12年正倉院展目録』掲載)を参考に作図。



甲羅に北斗七星を持つスッポン形の入れ物。「靈龜」改元の祥瑞をもとに作成されたとされるが詳細は不明。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見!

高校生編 その57



投稿者 (文と写真)

府中高校1年生
山崎つぐみさん

合唱コンクールを通して学んだこと

6月の文化祭で、入学して初めての合唱コンクールがありました。コンクールでは、クラス対抗で賞を目指して競い合います。当日ギリギリまでパートに分かれて練習したり、何度も全員で歌って、1年生の賞であるベストヤング賞をとれるように一生懸命頑張りました。本番では、練習の成果を発揮することができ、私たちのクラスはベストヤング賞に選ばれました。1年生として賞をとれたことは嬉しかったのですが、先輩方の全員の気持ちが揃った合唱には圧倒されました。来年は、あのような合唱ができるように頑張りたいです。

私は、指示を出し全体をまとめることをあまり経

験したことがなかったので、指示もうまく通らず、不安でいっぱい毎日でした。でも、クラスのみんなが協力してくれたおかげで、私はしっかり指示を出すことができました。賞がとれたのは、何よりこうしたクラスの団結力があつたからだと思います。



合唱コンクールを終えて、全体を動かす難しさを学ぶと共に、協力することの大切さを学びました。今回学んだことを自分の学校生活に生かし、これからもたくさんことを経験し学んでいきたいです。

府中市RCCラジオ番組「府中に夢中！」

毎週月曜日16:30~16:45(そのうちの5分間) RCCラジオ (1530kHz)

放送日	放送内容
8月5日(月)	備後府中焼き店舗紹介「備後府中焼き 一宮」
8月12日(月)	天領上下花火まつり(出演 上下町商会)
8月19日(月)	子どもの作品・学校紹介「旭小学校」
8月26日(月)	企業・起業紹介「池田牧場」

4月1日から
新たに開始!

ラジコでも
聴ける!

公式SNS
facebook



スマホアプリ
radiko (ラジコ)

府中市メール配信
サービス

